

## 随想

# 日々の想



ずいそう

## 一丸となって

藤田 義一



ここ川谷は、那須連峰のすそのに広がる白河高原に位置し、四季折々いろいろな様相を見せてくれる。春はまばゆいばかりの緑、夏はさわやかな風を肌で感じさせ、秋は山々が鮮やかに紅葉し、冬は辺り一面白一色となり厳しい冬を迎える。このような自然に恵まれた環境の中で、本校生徒四十六名が伸び伸びと学校生活を送っている。

本校に赴任して今年で三年目。厳しい冬は二度越したことになる。朝七時三十分、氷点下十度近くまで冷え込んでいる体育館に、「おはようございます」「お願いしま

名の女子が私の所へ来たのである。「ありがとう。練習をしている仲間が喜ぶよ」

こうして、中体連陸上大会へ向けて本格的な練習が始まったのである。結果は、西白河支部大会で四種目の優勝、その中でも女子の四百メートルリレーは初優勝である。この時、私は決勝ゴールで競技員として仕事をして、わが目を疑ってしまった。無理もない、こんな小さな学校がリレーで優勝するはずがないと思っていたからである。そして、県大会では砲丸投げで優勝、走り高跳びで

二位、三種Aで七位という結果であった。これもみな、ひたむきに努力する選手、それを支える保護者の方々、さらには、生徒や先生方が一丸となって支援してくれたからである。

好きな陸上競技の指導ができるのも、すばらしい生徒たちがいるからである。そして、こんな小さな学校でも「やればできる」ということを、私に教えてくれた純朴な四十六名の生徒たちに感謝しながら、今後も生徒と共に日々努力していきたい。

(西郷村立川谷中学校教諭)

## わからない人は 手を挙げて

小林 圭子



私の学校に月に二回やってくるALTのジェフ先生は、アメリカ出身の好青年です。子供たちは、先生の授業を心待ちにしています。彼が廊下を歩いていると、遠くにいる子供からも声がかかり、職員室の前ではたちまち子供たちの人垣ができます。

私たちの職員もジェフ先生の来校を楽しみにしています。彼は日本語の習得に熱心で、中国語が堪能なこともあり漢字も苦にならない様子で、この前は四年生の国語の教科書を辞書も使わずに読み、私たちを驚かせました。

私たちは放課後、ジェフ先生を囲んで歓談することがあります。家族のこと、休暇中の旅のこと、彼は片言の日本語で、私たちは片言の英語で、何とか会話を楽しむ